

平成24年3月15日

名前 印
住所
電話番号

福島第一原発の事故による放射性物質、 他の有害物質に汚染された瓦礫の受け入れ反対の陳情書

瓦礫の焼却により濃縮された放射性物質は半永久的に残存し、焼却場の近隣地域だけではなく、周辺の他府県にまで影響を与えます。

空気中にまき散らされた放射性物質は雨によって地中に浸透し、土中の微生物、地上の動植物、さらには海のプランクトンや海洋生物に悪影響を与え、農作物、魚介類に、ひいては私達の口にするものがさらに汚染され、恐ろしい内部被ばくへと繋がります。

和歌山には海、山、川、文化遺産等の多くの財産が存在し、東北や関東からの避難者の滞在や、汚染の少ない食物として農作物も大変重宝されています。

どんなに受け入れ基準値を低くしようと放射能に安全などありません。

被ばくにしきい値などありません。

また、和歌山には一般廃棄物処理施設しか備わっておらず、その施設で放射性物質を処理するにはあまりにも危険すぎます。

瓦礫にはヒ素やアスベスト等の有害物質が含まれていることも明らかになっています。

汚染物質は拡散ではなく、一か所に集中管理をするべきだと考えます。

また、瓦礫の受け入れが結果として被災地の雇用の場を奪っている現状もあります。

以上の事から次の内容を陳情いたします。

記

すべての財産、すべての命を守るために汚染された瓦礫の受け入れ、焼却処理に断固として反対します。

どうか安心して子どもを産み育てられる美しい和歌山を、後世にも守り残して下さい。